

西の丸（三重櫓）

西の丸三重櫓は三階建てで、最上階からは、見張り役は北西の琵琶湖方面の交通路の様子、北の山崎廓へのアクセス経路、もしくは南から南東の裏門のどんな動きも監視できた。真下を見ると、見張りは下の空堀を監視することができた。3階の窓は広い視野を確保するためにあらゆる方向を向いているが、2階と1階の窓は敵への鉄砲攻撃の狙いを定めるために外向きについている。攻撃者側から放たれる火矢と鉄砲に耐えるため、櫓の外向きの壁は二重に厚塗りされ、耐火性を備えている。三重櫓は1853年に大幅に修理され、梁と柱の80%が交換された。